

Y13c

晴眼者にも視覚障害者にも読みやすい集録原稿の公開

臼田-佐藤功美子 (国立天文台), ユニバーサルデザイン天文教育研究会世話人

2010年6月6、7日の二日間、東京都三鷹市の国立天文台本部にて、「ユニバーサルデザイン天文教育研究会」が開催された。研究会世話人有志で編集委員会を立ち上げ、2013年1月上旬に、天文教育普及研究会サイト内にて集録を公開することができた (<http://tenkyo.net/wg/ud2010/index.html>)。その際、晴眼者・視覚障害者双方にとって読みやすいファイルの形態について、視覚障害者を中心に複数の方から意見を伺った。

晴眼者にとっては、PDF ファイルの集録が一番馴染み深い。しかし、スクリーンリーダー（音声読み上げソフト）を使う視覚障害者からは、読み上げてくれない PDF ファイルがあり、敬遠している人も多いという情報を得た。スクリーンリーダーで確実に読めるのは、Text ファイルと、doc 形式の Word ファイルだとわかった。

以上を考慮に入れ、(1) 主に視覚を使って読む人を対象とした、図・写真や表を含む PDF ファイルと、(2) 主にスクリーンリーダーを使って読む人を対象とした、図・写真を含まない Word ファイル (doc 形式) の2種類を作成した。PDF ファイルでは、弱視（ロービジョン）者が読みやすいように、ゴシック体を使用したほか、図・写真を可能な範囲で大きく掲載するように編集した。さらにスクリーンリーダーでも読めるようにタグ付き PDF に仕上げた。Word ファイルは、図・写真の説明を文章で加え、表をできるだけ読みやすい形に変換するよう努めた。集録サイトも、アクセシビリティの高いウェブデザインを心がけ、ウェブアクセシビリティチェックサイトで確認しながら作成した。

本講演では、晴眼者にも視覚障害者にも読みやすい集録原稿やウェブデザインのガイドラインを紹介する。このガイドラインが、今後あらゆる天文教育普及活動を行う上でのスタンダードになればと願っている。